

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 4 年 8 月 31 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	宇部工業株式会社
所 在 地	山口県宇部市大字妻崎開作 874 番地の 1
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 河野 剛志
担 当 者 連 絡 先	電 話：0836-41-8448 (担当：総務部 福田 英敬)
	メー ル：jimka@ubekogyo.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.ubekogyo.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 23 年（1948 年）創立の総合建設業者で、永年培われた港湾土木技術により港湾土木工事、港湾浚渫工事、一般土木工事を施工しております。また、石油・化学プラント、空港燃料給油施設、橋梁、水門、除塵機、ビル建築、工場建築等も設計、製作、施工する総合エンジニアリング企業です。「自らが誇れる会社、社会が評価する会社、家族が満足する会社づくりを目指そう」の企業理念のもと、持続発展企業を目指しております。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	ガソリン社用車 101 台のうち 20 台の更新時に、ハイブリッド車等のエコカーに変更することにより CO2 を削減する。	CO2 を年間 17,000kg 削減する。 【現状】136,000kg/年 ※CO2 排出量をガソリン車（101 台）176g/km・台、走行距離を 30 km/日、稼働日数を 255 日/年として計算 【目標】119,000kg/年 ※CO2 排出量をガソリン車（81 台）176g/km・台、ハイブリッド車（20 台）94g/km・台、走行距離を 30 km/日・台、稼働日数を 245 日/年として計算
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革をより推進するため、労働日数を短縮する。	労働日数を年間 10 日短縮する。 【現状】255 日/年 【目標】245 日/年

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
9	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物の処理、リサイクル、消耗品の無駄遣いに注意し、環境負荷の軽減を図っている。											11.6	12.4 12.5 12.7		14.1			
10	【エネルギー】 ・エネルギー利用の効率化を進めている	本社屋上および倉庫屋根に太陽光発電所を設置し、そこで作ったグリーン電力を弊社工場内で使用するしくみを導入している。							7.2 7.3				11.6		13				
11	【温室効果ガス】 ・温室効果ガスの排出量削減を進めている	①工場屋根に売電専用の太陽光発電設備を設置し、CO2換算で年間約80tのCO2を削減している。 ②弊社所有の浚渫船は排出ガス対策型2次規制エンジンを搭載しておりCO2を削減している。また、浚渫作業待機中は主機関を停止することで排出ガスを削減し大気汚染を防止している。			3.9				7.2 7.3				11.6	12.4	13				
12	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001：2015を認証取得し、環境マネジメントシステムを運用している。			3.9			6	7				11.6	12	13	14	15		
13	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	（再掲）工場屋根に売電専用の太陽光発電設備を設置し、CO2換算で年間約80tのCO2を削減している。							7.2 7.3				11.6	12.4					
14	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	（再掲）本社屋上および倉庫屋根に太陽光発電所を設置し、そこで作ったグリーン電力を弊社工場内で使用するしくみを導入している。							7.2 7.3				11.6	12.4	13				
15	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001：2015を認証取得し、品質マネジメントシステムを運用している。									9								
16	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	ウルトラフロートカバー（※1）、ウルトラ・ブイラス（※2）の設置により、大気汚染を防止している。												12.4	13				
17	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	①ネオライズ（※3）の設置により、津波・高潮などの水災害から「命を守り、暮らしを守る」ことに貢献している。 ②コンバー（※4）は、湖・水路に発生した外来種水草を根こそぎ除去し、生態系への影響や農業・漁業への被害を減少させている。											11	12	13	14	15		

- ※1 ウルトラフロートカバーとは
原油・ガソリンをはじめとする石油製品や揮発性の液体は、気温の変化などが原因で貯蔵量の約10%近くが蒸発損失するとされています。蒸発損失により、貴重な資源が浪費されるだけでなく、蒸発した物質による大気汚染も問題になっています。ウルトラフロートカバーは、新設や既存のコーンルーフトank内部に設置するアルミニウム合金製フローティングカバーでタンクの気密性を高めて蒸発損失を95%以上防ぎます。
- ※2 ウルトラ・ブイラスとは
石油基地・油槽所・化学工場等のタンクなどから排出される、揮発性有機化合物ベーパー・炭化水素ベーパーによる大気汚染の防止と資源の回収を目的とした装置です。
- ※3 ネオライズとは
無動力で操作不要の自立するフラップゲート式防潮壁です。災害時に誰かが操作する必要がありません。また、自動化や遠隔操作等のための電源や制御システムを一切使わない極めてシンプルな機器構成のため、故障しにくく維持管理の負担を大幅に軽減することができます。
- ※4 コンバーとは
弊社所有のコンバーは、河川・湖沼のメンテナンスに力を発揮します。アタッチメントを変えることにより河川等の草刈り、レーキ作業、ポンプ浚渫がこの一台で可能になります。マシンは最大30°の傾斜まで自走で入水、出水することが可能で、工事の汎用性が高い水陸両用多機能小型作業船です。

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
18	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している			3.9								11	12	13	14	15		
19		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる											11						
20		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している								8				12					
21	組織体制	【内部管理体制】 ・ SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している								8									
22		【法令遵守・社会的責任】 ・ 法令を遵守するとともに、CSRに基づいた活動をするための体制・仕組みを構築している																16	
23		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16	
24		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																16	
25		【リスクマネジメント】 ・ 法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16	
26		【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している													13.1			16	
27		【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている								8	9								

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	山口県宇部市大字妻崎開作 874 番地の 1
名 称：	宇部工業株式会社
代 表 者：	代表取締役社長 河野 剛志
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ガソリン社用車 101 台のうち 20 台の更新時に、ハイブリッド車等のエコカーに変更することにより CO2 を削減する。	CO2 を年間 17,000kg 削減する。 【現状】136,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（101 台）176g/km・台、走行距離を 30 km/日、稼働日数を 255 日/年として計算 【目標】119,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（81 台）176g/km・台、ハイブリッド車（20 台）94g/km・台、走行距離を 30 km/日・台、稼働日数を 245 日/年として計算	ガソリン社用車更新時に、2 台をハイブリッド車に変更（10%）
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革をより推進するため、労働日数を短縮する。	労働日数を年間 10 日短縮する。 【現状】255 日／年 【目標】245 日／年	令和 4 年度実績 254 日／年

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	山口県宇部市大字妻崎開作 874 番地の 1
名 称：	宇部工業株式会社
代 表 者：	代表取締役社長 河野 剛志
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ガソリン社用車 101 台のうち 20 台の更新時に、ハイブリッド車等のエコカーに変更することにより CO2 を削減する。	CO2 を年間 17,000kg 削減する。 【現状】136,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（101 台）176g/km・台、走行距離を 30 km/日、稼働日数を 255 日/年として計算 【目標】119,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（81 台）176g/km・台、ハイブリッド車（20 台）94g/km・台、走行距離を 30 km/日・台、稼働日数を 245 日/年として計算	ガソリン社用車更新時に、8 台をハイブリッド車に変更（40%）
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革をより推進するため、労働日数を短縮する。	労働日数を年間 10 日短縮する。 【現状】255 日／年 【目標】245 日／年	令和 5 年度実績 253 日／年

令和 7 年 8 月 25 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	山口県宇部市大字妻崎開作 874 番地の 1
名 称：	宇部工業株式会社
代 表 者：	代表取締役社長 河野 剛志
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ガソリン社用車 101 台のうち 20 台の更新時に、ハイブリッド車等のエコカーに変更することにより CO2 を削減する。	CO2 を年間 17,000kg 削減する。 【現状】136,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（101 台）176g/km・台、走行距離を 30 km/日、稼働日数を 255 日/年として計算 【目標】119,000kg／年 ※CO2 排出量をガソリン車（81 台）176g/km・台、ハイブリッド車（20 台）94g/km・台、走行距離を 30 km/日・台、稼働日数を 245 日/年として計算	ガソリン社用車更新時に、10 台をハイブリッド車に変更（50%）
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革をより推進するため、労働日数を短縮する。	労働日数を年間10日短縮する。 【現状】255 日／年 【目標】245 日／年	令和 6 年度実績 241 日／年 目標達成済み。